

「のみバス」新ルート・ダイヤお披露目式を開催しました



テープカットで新ルート・ダイヤを祝いました。



1便目の出発の様子

4月4日、能美根上駅東口で能美市コミュニティバス「のみバス」新ルート・ダイヤお披露目式を開催しました。「わかりやすい」「便利」「朝夕の速達性」に重点を置いた新ルート・ダイヤでの運行開始を記念し、テープカットを行いました。また、市内主要観光施設を土・日・祝日限定で回る観光ルートが新設され、記念すべき1便目の出発を「いしかわズービック」の演奏でお祝いました。

さらに同日、能美市誕生15周年記念ロゴマークを披露しました。このマークは、市特産の「加賀丸いも」や「国造ゆず」にも見える親しみの湧くシルエットを採用しています。今後は15周年記念に関することに使用していきます。



誕生15周年記念ロゴマーク

農業利用最適化を推進 農業委員会新委員を紹介しします

任期満了に伴い、4月1日から農業委員と農地利用最適化推進委員が新たなメンバーとなりました。任期は令和5年3月31日までです。

農業委員と農地利用最適化推進委員は、農業者の代表として、農地の効率的な利用の促進や遊休農地の解消など、農業行政の適切な執行に努めます（敬称略、五十音順）。

農地利用最適化推進委員 (12名)	農業委員 (14名)
岡田 武洋 (福島町)	岡元 豊 (福岡町)
北野 哲 (中ノ江町)	喜多 裕雄 (未寺町)
北村 眞一 (吉原釜屋町)	北出 隆 (三ツ口町)
小藏 和浩 (宮竹町)	北山 喜義 (山田町)
高橋 佳孝 (粟生町)	小水 和子 (東任田町)
田中 肇 (未信町)	善田 晋作 (岩内町)
長野 喜代志 (小長野町)	竹田 一春 (上清水町)
畑中 茂伸 (仏大寺町)	竹本 敏晴 (牛島町)
東 潤一 (下開発町)	中村 宇一郎 (大浜町)
梁 健一 (岩内町)	中山 常明 (館町)
山本 克郎 (西任田町)	西居 雅恵 (高坂町)
米田 賢二 (出口町)	本江 信一 (吉原町)
	山口 征男 (辰口町)
	吉田 則明 (寺井町)

【問い合わせ】
農業委員会事務局 (☎ 58-2256 ☎ 58-2297)

大城エネルギー株式会社が 市内小中学校にガスコンロを寄贈

創立60周年を記念し、大城エネルギー(株)から市内8小中学校へガスコンロ54台を寄贈いただきました。

井出市長から西本和喜夫社長へ感謝状が贈られました。いただいたガスコンロは家庭科の授業などで活用されます。



左から西本社長、井出市長

新副市長に 番匠啓介氏が就任されました



番匠副市長

《番匠副市長からの一言》
これまで培ってきた行政経験を生かし、能美市の更なる発展と将来に渡って持続可能なまちづくりに向け、井出市長のもと、市政全般に渡る重要施策を推進し、実行して参ります。

昭和43年生まれ 51歳 金沢市出身
【略歴】平成5年石川県庁に奉職。土木部、総務部東京事務所、商工労働部などを経て平成24年4月商工労働部産業政策課長補佐となる。平成29年7月農林水産部農業参入・経営戦略推進室次長兼里山振興室次長。

細川氏が副市長を退任 能美市への感謝を報告



細川前副市長

《細川前副市長からのメッセージ》

平成29年7月から赴任し、なかなか経験できないような市の仕事を経験させていただき、役人人生として本当に幸せでした。市民の皆さんにも大変お世話になりました。市長が今掲げている全ての施策が移住定住に結び付き、能美市が一丸となって「いろいろな人や企業から選ばれるまち」に、これからはますます発展してほしいと思います。退任後は県庁へ戻りますが、私も可能な限り、第二の故郷である能美市を支援していきたいと思っています。

教育委員に輪島さんを任命

3月23日、新たに教育委員となった輪島寿代さん(松が岡二丁目)の任命式が市役所で行われました。輪島さんの任期は、令和2年3月25日から令和6年3月24日までです。



辞令を受け取る輪島さん

国造ゆずを使ったハンドソープが登場 容器ラベルには九谷焼をデザイン

株式会社ルバンシユが、国造ゆずの香り成分を配合した泡ハンドソープ「EATゆずハンドソープ」を開発し、4月1日から市内限定で販売を開始しました。

容器のラベルデザインは、市内の女性九谷焼作家によるプロジェクト WeArKUTANI のメンバーが手掛け、それぞれ個性的なデザインに仕上げられています。



▲食用成分100%で作られており、年間3,000本限定。生産から販売まで市内で完結する「地域完結型ビジネスモデル」として展開する。



市役所に販売開始の報告に訪れた九谷焼作家の皆さんと千田社長(中央)

問い合わせ 能美市観光物産協会 (☎ 58-2221 ☎ 58-2269)

企業立地や工場の投資を支援 市内企業23社に助成金を交付

市の産業用地等取得し、工場等の新設・増設を行った企業などに助成する企業立地促進助成金について、次の15社に計3億4600万円を交付しました。

また、市内で工場などの新設・増設や機械設備に一定額以上の投資を行った企業に助成する産業振興奨励助成金について、次の8社に計2297万円を交付しました。

企業立地促進助成 (15社)

- ・(株)エスフーズ (山口町)
- ・N G Kセラミックデバイス(株)(能美)
- ・(株)金沢村田製作所 (赤井町)
- ・(株)金森製作所 (徳山町)
- ・川上鉄筋工業(株) (山口町)
- ・(株)光栄 (岩内町)
- ・(株)スーパー・アロイ (岩内町)
- ・(株)住田鉄工所 (山口町)
- ・(株)中東 (岩内町)
- ・(株)T・T・O (山口町)
- ・(株)東振精機 (粟生町)
- ・東レ(株) (北井町)
- ・日本通運(株) (能美)
- ・日野トレーディング(株) (赤井町)
- ・米田ニット(株) (山口町)

産業振興奨励助成 (8社)

- ・請田鉄工(株) (浜町)
- ・尾張整染(株) (大浜町)
- ・テックワン(株) (浜町)
- ・(株)ナカシマ鉄工所 (粟生町)
- ・根上工業(株) (道林町)
- ・ハマダ機械(株) (吉光町)
- ・フジタ技研(株) (粟生町)
- ・前田製菓(株) (中ノ江町)



消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車を更新しました

3月に根上分署の消防ポンプ自動車と辰口分署の高規格救急自動車を更新配備しました。

消防ポンプ自動車(CD-1型)は、車両の左右どちらからでも容易に吸水管を引き出せるため、従来よりも省力化が図れ迅速に吸水作業が行えます。また、1300ℓの水を積載でき、消火栓などの水利に接続し

なくても放水できる車両です。

高規格救急自動車は、車内に救急救命士による高度な処置が行える資器材や傷病者に走行時の振動を与えない装置などを装備しています。

高規格救急自動車は防衛省の補助を受け整備を行いました。



消防ポンプ自動車(左)と高規格救急自動車(右)

健康増進のために寄附 鶴来信用金庫と北陸信用金庫に感謝状

鶴来信用金庫と北陸信用金庫から市へ健康増進活動の一助として、各10万円、計20万円のご寄附をいただきました。

3月26日、鶴来信用金庫の玉井重治理事長や北陸信用金庫の石田雅裕理事長ら

が市役所を訪れ、寄附目録の受納と感謝状の贈呈を行いました。

井出市長は「元気なまちであるためには健康が大切。寄附金を大切にに使わせていただき、市の発展につなげたい」とお礼を述べました。



左から石田理事長、井出市長、玉井理事長

寺井高校生が「ぼぼ能ん」お披露目

3月25日、市公式キャラクター「ぼぼ能ん・ゆず美んの2歳の誕生日に併せて、まだ名前の無かった小さいぼぼ能んの名前のお披露目式が市役所で行われました。寺井高校

生の代表3名が巻物を開いて名前「ぼぼ能ん」を発表しました。ぼぼ能んは今後、市役所本庁舎の市民ホールで、訪れた市民をお迎えします。



「響きがかわいい」「呼びやすい」など意見ができました。

能美市議会が新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する要望書を提出

国や石川県で緊急事態宣言が発出され、市内においても感染が確認される状況の中、感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るため、4月15日に「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する要望書」が能美市議会から井出市長へ提出されました。要望した内容は、次のとおりです。

- 1 市民に対し、迅速な情報提供に努めること(外国人市民に対しても)
- 2 園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケアに努めること
- 3 個人事業主、中小企業等へのさらなる経済的支援策を講ずること
- 4 新型コロナウイルス感染症患者及びその家族のプライバシー保護を徹底すること



居村議長(中央)、杉田議会運営委員長(左)から要望書が手渡されました。

- 5 新型コロナウイルス感染症対策を実行するため必要な予算措置を講ずること

桜が寄贈された小公園を整備 名称は「ブルームィングパーク」

物見山運動公園の一角にあり、ブルームィングロードに近隣している桜の小公園を「ブルームィングパーク」と名付け、記念碑とベンチ1基を設置しました。ブルームィングパークは約900平方メートルの市有地で、園内にある18本の桜の木と苗木は、三ツ屋町出身の南健一さん(大阪府在住)により植えられたものです。

3月29日、南さんを招き、記念碑除幕式を



河津桜や淡墨桜など全国から南さんが集めた名木が植えられています。

開催しました。南さんは「生まれ故郷に何かを残したくて桜を約10年前から植えてきました。足を運んでいただけたら嬉しいですよ」と話しました。

小公園はブルームィングロード利用者を含めた市民の憩いと交流の場となることが期待されます。



井出市長から感謝状を受け取る南さん(左)

小松マテール株式会社から市役所へ マスクインナーを寄贈

3月31日、小松マテール(株)から市役所にマスクの内側に装着して使用するマスクインナー700セット(1セット5枚入り)を寄贈いただきました。

マスクインナーには、同社と東芝マテリアル(株)が1年半かけて開発した。

ウイルスの活動を抑制する加工技術が使用されています。また、水洗いすることで、10回程度繰り返し使えます。

いただいたマスクインナーは庁内で市民と接する機会の多い部署を中心に使用しています。



井出市長にマスクを渡す松尾千洋常務取締役(左)

石川県視覚障害者協会が 音声図書を寄贈

4月13日、石川県視覚障害者協会から市役所に、音声図書が収録されたSDカード1枚とCD35枚を3セット寄贈いただき、米島芳文理事長から井出市長に目録が手渡されました。

寄贈いただいた音声図書は、アンデルセン

童話などの朗読音声を収録したもので、同協会が視覚障がい者などの読書機会を確保するために収録し、寄贈を行っています。

寄贈にあわせて音声図書の再生に必要な機器も貸し出していただいたため、今後、それ



米島芳文理事長(左)と井出市長

らを市内図書館に設置して、当事者の利用と市民向けの体験が行える場を設ける予定です。

卒園児に九谷焼の記念品を贈呈

今春、市内15保育園を卒園した447名全員に、石川県陶磁器商工業協同組合(九谷陶芸村内)から記念品として九谷焼の湯飲みが贈られました。この事業は、平成15年から続いています。

3月23日には、東浩一理事長と藤田努総務委員長が市役所を訪れ、井出市長に目録を手渡しまし

た。湯飲みには、トキが描かれています。



左から藤田さん、東さん、井出市長

姉妹都市シエレホフ市出身の JAIIST留学生が帰国挨拶

ロシア連邦シエレホフ市出身で北陸先端科学技術大学院大学に平成30年4月から留学生として在学していたシャドリン・デニスさんが、修了に伴い帰国しました。

シャドリンさんは3月17日に市役所を訪問し、井出市長に印象に残った

イベントや風景など能美市での思い出を報告しました。



シャドリンさん(中央)